

2024 年度 自己評価報告書

評価対象期間 自：2024 年 4 月 1 日
至：2025 年 3 月 31 日

学校法人お茶の水学園
専門学校お茶の水スクール・オブ・ビジネス
自己評価委員会

項目別の自己評価表

1. 学校の教育目標

【教育理念】

「相手のことを理解し、自分でものを考え、行動する人を育成する。」

【教育目標】

地域・企業と連携した職業教育を行う。

- ・実学・実習を中心としたカリキュラムを構成し、即戦力を身につける。
- ・ビジネス知識：時代のニーズをつかみ、ビジネスの基本を知る。
- ・資格：知識の裏付けとなる資格に挑戦し社会に出る自信をつける。
- ・コミュニケーション能力：相手を思いやり自分で考え発信できる力をつける。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 実学・実習を中心とした授業の実施

これまでの座学・資格取得を中心としたカリキュラムを実学・実習を意識したカリキュラムにシフトしていく。

企業訪問、インターンシップ、アルバイト紹介制度との連携により学習効果を高める。

(2) インターンシップ制度の充実

これまでもインターンシップ制度は実施してきたが、より実務スキル習得につながる制度へと充実を図る。実施時期、実施期間等の見直し。

特定業界インターンシップ紹介制度を導入。会計事務所から協力の承諾を得ている。引き続き協力企業の拡充に努める。

(3) 学生募集の強化

引き続き高等学校との連携強化を目指す。

出前授業、高校訪問、公開講座など学校および教育内容の認知につとめる。

(4) 企業の求める人材（ニーズ）の把握

外部関係者、求人企業からのヒアリングを行う。企業の求める人材をつかみ、学生仕上がり像を明確にし、そこに向けたカリキュラムを編成する。

(5) 資格取得率の維持・向上

各検定とも基礎～中級レベルの合格率は全国平均と比較しても非常に高い水準にある。

今年度も少人数制クラスの特長を活かし資格取得率の維持を目指す。

(6) 退学率の低減

入学時のガイダンスを充実し、学生生活のルール、生活リズムの作り方などきめの細かい指導を行う

早期把握、対応に努めるとともに、保護者との連携を強め、退学率0%を目指す。

クラス担任・就職指導担当による個別面談により学生の悩みや不安の解消に努める。

(7) 就職率の維持・向上

留学生向け求人の開拓が課題となる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【総括】

会計、パソコンスキルを中心とした実務教育と「笑顔の挨拶」を第一としたヒューマンスキル教育で卒業生の就職先企業からも大きな信頼を受けている。また、少人数クラス制により生徒一人ひとりに目の行き届いた指導を行っている。

採用希望企業の担当者に授業見学を案内し、教育内容を積極的に公開している。

講師会やカリキュラム会議を実施する中で職員や講師間で学校の理念や目的を共有・確認している。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・学校の理念・教育・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
・学校における職業教育の特色は何か	4	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	4
・各学科の教育目標、育成人材像は、学校等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3	3

① 課題

② 今後の改善方法

- 就職先、求人企業先へのヒアリングをさらに進める。
- 教育課程編成委員会を活用し業界ニーズの把握に努める。

③ 特記事項

(2). 学校運営

【総括】

職員は少人数のため、運営方針や事業計画の共通理解はされている。意思決定についても校長を中心に有効かつ迅速な対応が可能である。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	4
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

① 課題

○ 特になし

② 今後の改善方法

○ 教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会を有効に活用する。

③ 特記事項

(3). 教育活動

【総括】

これまで積み上げてきた教育課程の実績により、資格取得指導やキャリア教育の基礎は確立されている。学生からの授業評価を実施し教員の指導法改善にも取り組んでいる。

今後はさらなる業界ニーズの研究と実践的で魅力的なカリキュラム開発のため教育課程編成委員会を中心に継続的な改善を行う。

2023年度よりICT教育を中心とした新コースがスタートした。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3	3
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	3	3
・授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	4

① 課題

- 企業実務者からの演習授業によりキャリア教育の推進を行ってきたが、組織的・継続的な取り組みと仕組み作りが必要である。
- 教育理念に掲げる「実務・実学」をカリキュラムにどう反映させ実践するか。

② 今後の改善方法

- 教育課程編成委員会を中心に、最新の業界ニーズを反映したカリキュラムづくりに取り組む。
- 教員研修計画に基づき、外部研修、専門研修への参加を強化する。さらに定例講師会において研修結果の共有を図り、教職員の質向上につなげる。
- 授業評価アンケートの結果を教育課程編成委員会・定例講師会に活用する。

(4). 学修成果

【総括】

卒業後の活躍・評価の把握のため卒業生への取材を実施した。
就職率・退学率ともに改善がみられた。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・就職率の向上が図られているか	4	4
・資格取得率の向上が図られているか	4	4
・退学率の低減が図られているか	3	3
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

① 課題

- 一年次春休みに就職活動を開始できるカリキュラムの構築
- 留学生就職先の求人開拓。

② 今後の改善方法

- 留学生の就職については求人開拓を行うとともに行政機関との連携を深める。
- 退学者対策として面談・家庭訪問を実施。今後も継続する。
- 就職先企業・卒業生へのアンケートの実施。

③ 特記事項

留学生について、卒業後の在留資格の変更と更新を本人に確認し、在留番号の把握を徹底している。

人事担当者を授業見学に誘導し、学生の学習態度、スキルの把握を促した。

(5). 学生支援

【総括】

クラス担任・就職指導担当による個別面談や日常の声掛けなど学生と教職員の距離が近く相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。また教職員間で学生に関する情報共有を行い、学生のちょっとした変化を見落とすことなく指導・支援を行っている。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・進路・就職に対する支援体制は整備されているか	4	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	2	2
・学生の生活環境への支援は行われているか	3	3
・保護者と適切に連携しているか	4	4
・卒業生への支援体制はあるか	4	4
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4

① 課題

- 課外活動に関してはボランティア団体の紹介などを行っているが活発とは言えない。現状の生徒数ではクラブ活動も難しい。
- 生活環境への支援として提携学生寮の確保を行っている。

② 今後の改善方法

- 経済的支援の一環としてアルバイト紹介制度を活用する。
- 地域の行事等に学校としての参加を検討する。

③ 特記事項

(6). 教育環境

【総括】

学習設備については実務に対応するべく適切な更新を行っている。防災備蓄の整備、防災訓練の実施も計画的に行われている。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	4
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3	3
・防災に対する体制は整備されているか	4	4

① 課題

- インターン実施時期・実施期間（現状は1年次夏休み1週間程度）が適切か。
- 遠隔授業環境の整備

② 今後の改善方法

- 長期インターンや有給インターンについて企業との調整を進める。
- 春休みに1か月のインターンシップを公募。10名が応募し、3名（日本人1名留学生2名）が参加した。

③ 特記事項

(7). 学生の受入れ募集

【総括】

オープンキャンパス等の来校者も増加し、保護者などと直接話す機会が増えている。本校の特色を理解してもらうことで入学者が増加する要因となった。

コロナ禍により入国が制限されていた留学生が入国できるようになり出願が大幅に増えた。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	4
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
・学納金は妥当なものとなっているか	4	4

① 課題

- 検定合格率、就職率といった数字の成果は伝えているが、就職後の満足度や就職先企業からの評価の高さなど、数字にならない成果を伝える手法が必要となる。
- 留学生の出願は増えたが日本人コースの募集は苦戦している。

② 今後の改善方法

- 来校型の説明会だけではなくオンライン説明会を実施する。
- 校内ガイダンス等のイベント参加
- ホームページのリニューアルを実施する。
- オープンキャンパス来校者の増加を目指す。
- 資格取得、就職実績のほか、卒業生や就職先企業の評価を伝える。
- 特待生入試を設定し、学費の減免制度を充実させる。

③ 特記事項

(8). 財務

【総括】

当年度の予算・収支計画はおおむね計画通り執行された。今後施設の修繕費増加が見込まれるため予算計画を慎重に行う。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

① 課題

- 入学者の増加、社会人向け講座の堅調により財務基盤は安定している。
- 予算・収支についてはおおむね計画どおりに執行されているが、今後設備の老朽化により修繕費等の支出増が見込まれる。

② 今後の改善方法

- 施設整備計画と予算計画を精査する。

③ 特記事項

(9). 法令等の遵守

【総括】

厚生労働大臣の指定校であり法令の基準を遵守し、適正な運営が行われている。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	4	4
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
・ 自己評価結果を公開しているか	4	4

① 課題

○ 特になし

② 今後の改善方法

○ 自己評価に伴う改善作業をすすめ、改善結果のチェックを的確に行う。

③ 特記事項

(10). 社会貢献・地域貢献

【総括】

出前事業としてビジネスマナー、面接対策、就職対策などさまざまな授業を行い、生徒・高等学校教員から好評をいただいた。

公共職業訓練については6コースを受託。150名以上の受入れを行った。

雇用状況の改善により職業訓練事業の縮小が見込まれる。

適切…4、ほぼ適切…3、やや適切…2、不適切…1

評価項目	2024	2023
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2	2
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	4

① 課題

- 学生へボランティア活動の周知を行ってきたが積極的な参加に至っていない。
- 公共職業訓練の受託の減少

② 今後の改善方法

- 千代田区の事業、町会、商工会等の活動に、積極的に参加する。
- ボランティア活動の、単位認定システムの検討。

③ 特記事項